

# 第16回 芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区まちづくり協議会

## 議事要旨

### (1) 日時

平成26年9月25日(木) 午後1時～4時20分

### (2) 場所

東池袋4・5丁目地区現地、及びまちづくりセンター

### (3) 出欠者(会員数17名)

- ・ 会 員：9名(欠席者8名)
- ・ 事務局：川口市4名、(株)首都圏総合計画研究所4名

### (4) 議事次第

- 1) 開会
- 2) 公園づくりの基本原則を基にした辻広場等の視察
- 3) 東池袋4・5丁目地区の住民が感じる広場づくり、及び維持管理について  
(東池袋地区補助第81号線沿道まちづくり協議会 会長 より)
- 4) 今後の予定
- 5) 閉会

#### 【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 資料1-1：視察会MAP
- ・ 資料1-2：豊島区東池袋4・5丁目地区における辻広場一覧
- ・ 資料2：芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区における事業促進用地分布図



▲視察の様子



▲意見交換の様子

(5) 議事概要 (○：質問・意見、→：回答 [東池袋地区補助第 81 号線沿道まちづくり協議会])

1) 開会

2) 公園づくりの基本原則を基にした辻広場等の視察

「東池袋 4・5 丁目地区の視察、事務局より資料説明」

3) 東池袋 4・5 丁目地区の住民が感じる広場づくり、及び維持管理について

「東池袋地区補助第 81 号線沿道まちづくり協議会 会長より

東池袋 4・5 丁目地区のまちづくりの活動や経緯等について説明」

【感想・質問】

○：東池袋 4・5 丁目地区の消火栓を見学したが、芝樋ノ爪及び芝 4・5 丁目地区でも同じタイプの消火栓の設置を考えたい。水道管はあるので、長さ 30m のホースがあれば消火活動に使用できると感じた。

○：かつて池袋駅の西口に 4 年ぐらい住んでいたの、豊島区は昔から知っているが、井戸が一番懐かしかった。そのあと、東京の葛飾へ住んで、葛飾区も豊島区と同じような狭い、一人が通るとすれ違いざまにお互いに肩と肩を寄せ合わないとすれ違えないようなまちだったので、懐かしく感じた。東池袋 4・5 丁目地区には、かなり空き地があってびっくりしたが、20 年、30 年後を考えた事業促進用地の先行取得が、だいぶ計画的であるとおつくづく感心した。

→：まちづくり用地の先行取得を行うのは行政である。皆さんは埼玉県の方なので、埼玉県や市と一緒に進めていく必要がある。例えば用地の問題や、お年寄りの問題をなんとかしようというときに、事業促進用地の先行取得の方法を考え、市や国交省の出先機関に提案を持っていくような気持ちでいくと、まちづくりは進むと思う。

○：だいぶ時間をかけてコツコツと積み上げてきた結果が、今の東池袋 4・5 丁目地区の状況ではないか。芝樋ノ爪及び芝 4・5 丁目地区はむしろこれからである。今日見学した内容を頭に入れて、積み重ねていきたい。また、東池袋 4・5 丁目地区のまちづくりはどれくらいかかったのか。

→：東池袋 4・5 丁目地区のまちづくりはちょうど 30 年である。昭和 58 年、59 年ぐらいから始めた。東池袋 4・5 丁目地区は、ゆっくり一つずつ積み重ねてきたという話をしてもらったが、積み重ねる前に、私も住民もまちづくりについて一生懸命勉強した。現在にいたる中で、3 代前までの会長は皆亡くなった。長い間まちづくりをしていると、若い人がなかなか出てこない。若い人をまちづくりにどう取り込むかに苦慮している。一つ一つの積み重ねとともに、一人一人の力が大事になる。

○：本日はご案内頂き、ありがとうございました。私どもが住んでいる芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区は、どちらかという川口市の中心部からはずれたほうにある戦後にできたまちである。今日見学した東池袋4・5丁目地区と芝地区は環境が大きく異なると思うが、小さいとはいえ辻広場をつくっていて、よく考えられていると感心した。芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区では、事業促進用地の利用等をどう進めるかまだ決まっていないが、たいへん参考になった。ありがとうございました。

○：芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区にも未利用地が多くある。実際に未利用地を回ってみたが、殆ど宅地で土地区画整理事業の為の保留地ばかりだった。広い未利用地が多く、草が繁茂して蚊がたくさんいるようなところばかりだが、今日見た東池袋4・5丁目地区は、非常にコンパクトな角地にベンチ等のファニチャーがたくさんあった。

→：辻広場の土地は本来、道路拡幅整備のための代替用地だった。網で囲った更地があって、更地にしておくのは勿体ないから辻広場にすることになった。

○：辻広場には5tの貯水槽があると聞いたが、貯水槽を作ると宅地転用はできないのか。

→：豊島区のまちづくり課が防災課に頼んで貯水槽を入れてもらった。宅地に転用する時は貯水槽が撤去できるので問題ない。

○：川口の場合も鋳物を活かして辻広場をつくれたらなどと自分なりに考えている。モーモー広場やなまず広場はどれくらいの予算でできたのか。

→：辻広場の整備費用については難しいところである。担当していたまちづくり公社は現在存在しないが、当時、広さに応じて1,000万円とか2,000万円とか整備費用がかかっているようであった。行政が整備費用を全て出して、住民は一銭も出していない。

○：協議会で以前配布された「辻広場ができた」を読ませて頂いた。東池袋4・5丁目地区の辻広場は作られる過程で住民同士が寄り合ってきた過程があったと思う。その後の管理も同じような熱意で続いていると思った。少し残念だったのは、当時の方々も高齢化したり、住み変わりがあったのかどうかかわらないが、十分な管理がされていなくて、富士山広場に本が置けなくなったり、なまず広場のベンチの木が腐っているのが気になった。辻広場づくりのために、せっかくならばたいへんな労力を費やしたのだから、宝の持ち腐れでもったいない。どうすれば皆さんが喜んで使うようになるのか、まちづくり後の課題である。

→：管理があまりされていない辻広場については、一部の管理してくれている人が亡くなった影響がある。残っている方は一生懸命やってくれているが、一人ではなく皆でやるのが大事である。辻広場の管理方法を協議会として決めるのではなく、まず周りの人を巻き込むと、周りの人が入りやすくなる。例えば、タイルは子どもたちが1枚1枚貼る等、当時は情熱を持っていた。辻広場の管理については、最初から老若男女問わず、周りを巻き込むことが大事である。

○：5 t もの貯水槽の水は、汲み替えているのか。

→：貯水槽の水の入れ替えには、雨水がオーバーフローして下水に流れるのと、防災訓練の時に放水する、という2通りの方法がある。なるべく手間がかからないのは、オーバーフローして水が出ていく方法である。ボウフラが湧かないし、管理もしやすい。消防団は防災訓練で当地区の貯水槽全ての水を入れ替えることはできない。また、町内会のポンプを使用すると外が水浸しになってしまうので、水の入れ替えは難しい。維持管理を考えるなら、オーバーフロー式の5 t 貯水槽の設置を推奨する。

○：宅地が建てこんでいたところに道路をつくる等、いろいろとご苦労が多かったと思う。我々が同じようにまちづくりを進めるのは大変だと思う。ありがとうございました。

○：本日はどうもありがとうございました。東池袋4・5丁目地区では、今もまちづくりが続いているようで、おそらく定期的な集まりがあったり、まちの住民の方々に集まってもらって説明をしたり等、活動していると思うが、その際に、だいたいどれ程の住民が興味を持って集まっているか。芝地区では、まちづくり協議会を運営し住民説明会等を開催しているが、予想より人が集まっていない。東池袋4・5丁目地区では30年くらい前にまちづくりが始まったということだが、その当時はどれ程の人がまちづくり協議会や説明会等に来たか。また、30年経った今、継続してまちづくりの集まりがあるのであれば、集まる人数に変化はあったか。その時の年代によっても違うと思うが、数字がわかれば教えてもらいたい。

→：まちづくりの最初の頃は、私も30代で、それから会も色々と名称を変えてきた。当時は東京都によって第二種市街地再開発事業が都電沿いのエリアで進められていたが、東京都の財政難によって休止した。現在の市街地再開発事業は第一種市街地再開発事業で別の敷地で行われているが、事業が休止したり変更になったりしている間も、まちづくりの活動は細々と続けていた。補助81号線整備と沿道まちづくり事業について説明してから、まちづくりの活動に住民は来なくなった。昔ながらの人が多いためである。まちづくり協議会では、賛成意見は集まらず、反対の人が大きな声を出すので運営が難しいため、報告会・説明会はなるべく行政が運営するようになった。私が自ら会の途中で行政に厳しく質問して住民の味方であることを知らせると、住民がまちづくり活動に参加してくれるため、そういう工夫を毎年している。東京都が補助81号線整備と沿道まちづくり事業の報告会・説明会を行った時に集まった住民が推進派と反対派に分かれる等、最初はいろいろあった。立ち退きに際して絶対に土地を売らないと言っていた人が、他へ引っ越してしまう等、人はお金がからんでくると変わることもある。現在まちづくり協議会に住民がどの程度来ているかということだが、住民は3～5人程で、他は豊島区の都市整備部地域まちづくり課、東京都の再開発事務所、交通局、下水道局、コンサルタントである。まちづくり協議会は細々でもよいから続けることが大事である。途中で絶対に諦めてはいけない。私と副会長の二人でも、月1回は集まる。

○：今日はお忙しいところありがとうございました。東京と川口の違いもあるとは思いますが、東池袋4・5丁目地区ではこれだけのことを進めていて、ひたすらすごいと思った。30年かかったというが、芝地区では30年経っても変わらない気がして残念であった。

○：ありがとうございます。私も「辻広場ができた」を読んで、最初の協議会の立ち上げ時、みんなでまちをどうしようかと考える中で、まち歩きをして相談した当初の話をしてもらいたい。また、「辻広場ができた」に載っていたお祭りは今どのようなになっているか。

→：東池袋4・5丁目地区 81 まちづくりフェスタは現在も行われている。ミニSLや消防バイク、白バイなど子どもが喜ぶものを企画したり、南三陸町から海産物を取り寄せたり、町内会のお手伝いで焼きそばやかき氷を出店してもらい、お弁当を配っている。舞台なども自分たちでつくった。今年は800人程来場した。

【東池袋地区補助第81号線沿道まちづくり協議会 会長より】

○：今日は東池袋4・5丁目地区にお越し頂き、誠にありがとうございます。東池袋4・5丁目地区は木造住宅密集地域で、かつては日本で一番人口密度の高い地域であった。都電の両側で補助81号線が整備されることになって、いろいろ変わってきた。私の考えるまちづくりは、賛成・反対について住民が議決をとらないことが最大のポイントである。様々な夢を語るのがまちづくりであるので、賛成の人も反対の人もいてあたりまえである。反対の人、賛成の人と別れてしまうと、まちが分断される。行政によってまちが分断されるのは嫌なので、行政による議決権は最低限、会長を決めたり会則を決めたりすること以外はほとんどやらない。東池袋4・5丁目地区では、議決権によって何か決めたことはない。これが第一点である。それから、皆さんに喜ばれるために、ユニバーサルデザインを基本としている。ユニバーサルデザインは、健常者が障がい者の手助けをするのではなく、障がい者が、自分の自由に好きなものを好きな時に好きなように歩けることで、バリアフリーとは全然異なるものである。バリアフリーは健常者が障がい者の手助けをしないと歩けないようなまちであり、それはまちづくりではないと思っている。それから、東池袋4・5丁目地区のまちづくり協議会は3回解散しており、いま4回目である。私も最初は若かった。今67歳で、30年前の若い頃からやっており、現在は会長だが、行政と住民に考えてもらいたいのは、行政と住民が対峙するのはよいが、住民同士が対峙してはいけないということである。そのために、様々な夢を語って、行政の方々に実現する力をつけてもらいたい。私が30年前に出会った行政の末端だった人で、部長まで出世した人がいるが、昔は絶対に住民のことを聞かなかった。先日も当方は東京都の課長を叱ったが、住民のことを考えない行政官はまちづくり協議会に必要ない。都の担当は2年経ったら異動してしまうが、住民はずっと住み続けなければならない。住民が喧嘩してしまったら意味がない。皆さんが一致協力してやらなければいけない。行政の人たちと喧嘩して、これがダメだとか、ダメだったら法律を変えろというくらいでなければいけない。それが住民パワーである。先日私も納得できないことがあり、東京都の局長に直談判にいった。局長がまちのことをわかっていないときは、東京都の部長が大勢いるわけだが、本当にまちの事をわかっている部長に意見をぶつける。行政とはいつも対峙して、そして仲良くする。ただ言い合いをする訳ではなく、住民が後押しして行政に力をつけて貰わないといけない。様々な人がいるが、やはり住民パワーは絶対に強い。まちづくりは長く頑張らないといけない。まちづくりは夢である。かつて当方が、まちを歩いていると住民に行政の言いなりだ、など苦言を呈されたりしたが、現在、実際にまちがよくなってきていることで住民の皆さんも認めてくれた。辛いときがあっても、まちづくりは皆さんの夢であるので頑張してほしい。

#### 4) 今後の予定

「会長より資料説明」

次回の協議会

11月27日(木) 13:00～

芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区の事業促進用地における見学を行う。

#### 5) 閉会

# 視察会の様子



さわやか広場



星ふる広場



なます広場



モーモー広場



富士山広場



四季の花広場

# 視察会MAP

# 資料

